

GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2017 年第 8 週
(2/20～2/26)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

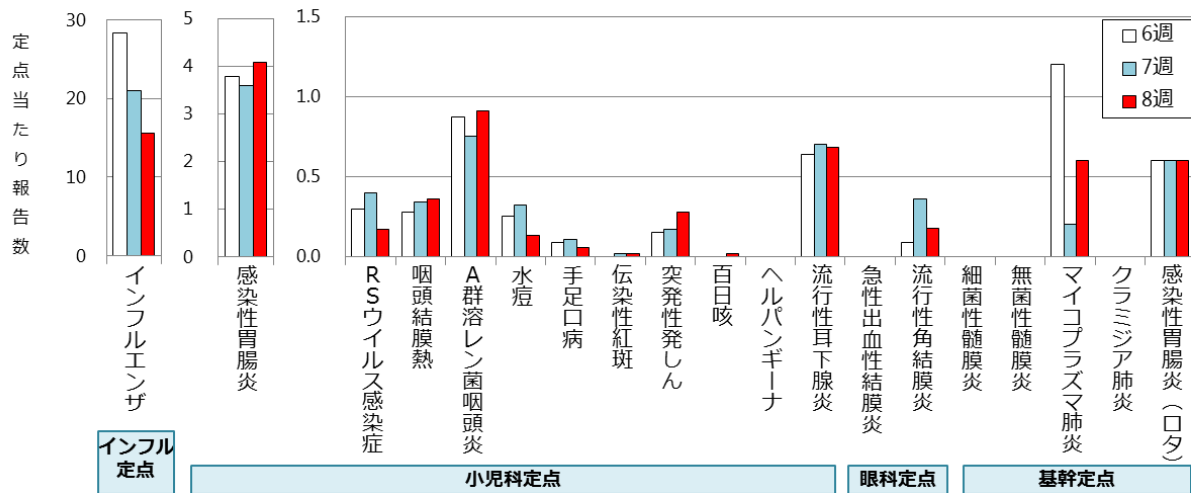
◇ インフルエンザは、県全体では第 4 週をピークに減少傾向にあります。引き続き、岐阜市、岐阜、西濃、関、東濃保健所管内で警報レベル、恵那、飛騨保健所管内で注意報レベルの流行となっています。→トピックス

■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	インフルエンザ	岐阜市 (18.71)、岐阜 (18.29)、西濃 (15.27)、関 (20.00)、東濃 (18.38)
注意報レベル	インフルエンザ	恵那 (11.71)、飛騨 (10.40)

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 4 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：デング熱 1 例（感染地域：フィリピン）、レジオネラ症 1 例
- 5 類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘（入院例）1 例、梅毒 2 例

● 2017 年累計

1 類感染症	なし	
2 類感染症	結核	54 例
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1 例
4 類感染症	A 型肝炎	1 例
	デング熱	1 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	2 例
	ウイルス性肝炎	2 例
	急性脳炎	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2 例
	つつが虫病	1 例
	レジオネラ症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	5 例
	水痘（入院例に限る）	2 例
	梅毒	12 例
	播種性クリプトコックス症	1 例
	破傷風	2 例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

■トピックス

《インフルエンザ》

◆ 県内ではピークを越え、減少傾向にあります

県内 87 のインフルエンザ定点医療機関からの患者報告数は、第 4 週の定点当たり 35.01 人をピークに減少に転じ、第 8 週は定点当たり 15.55 人となっています。

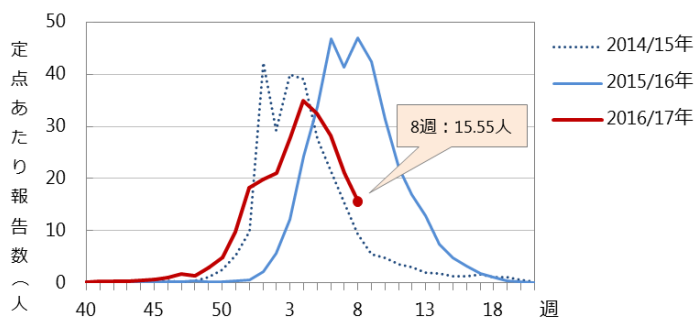
保健所別では、第 8 週は関保健所管内で最も多く、定点当たり 20 人となっています。減少傾向にあるものの、まだ多くの保健所管内で警報・注意報レベルの流行となっており、しばらくは注意が必要です。

今シーズンの県内のインフルエンザウイルス検出状況は、検査を実施した 79 検体中、A 香港型 (AH3) が 72 件 (91%)、AH1pdm09 が 2 件 (3%)、B 型が 5 件 (6%) となっています。

また、岐阜県リアルタイム感染症サーベイランスによると、今シーズン第 8 週までに報告された患者の迅速診断キットによる A・B 型別は、A 型が 99% を占め、B 型は 1% となっています (昨シーズン同期: A 型 59%、B 型 41%)。

現在までに B 型の患者の増加傾向がみられていないことから、今シーズンは B 型の大きな流行はないと考えられますが、引き続き動向に注意が必要です。

インフルエンザ患者報告数 (岐阜県: 87 定点)



保健所別患者報告数 ()内は定点当たり報告数

保健所	6週	7週	8週
岐阜市	517 (36.93)	430 (30.71)	262 (18.71)
岐阜	519 (30.53)	394 (23.18)	311 (18.29)
西濃	413 (27.53)	273 (18.20)	229 (15.27)
関	303 (37.88)	211 (26.38)	160 (20.00)
可茂	120 (15.00)	85 (10.63)	58 (7.25)
東濃	356 (44.50)	195 (24.38)	147 (18.38)
恵那	129 (18.43)	122 (17.43)	82 (11.71)
飛騨	102 (10.20)	116 (11.60)	104 (10.40)
県全体	2,459 (28.26)	1,826 (20.99)	1,353 (15.55)

警報レベル (定点当たり30人以上に達してから10人を下回るまで)
注意報レベル (定点当たり10人以上)

★ インフルエンザとは

インフルエンザウイルスによる気道感染症で、典型的には、1~3 日間ほどの潜伏期間の後に、38℃ 以上の高熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約 1 週間の経過で軽快します。高齢者や、呼吸器、循環器、腎臓の慢性疾患患者や糖尿病患者などでは、呼吸器に二次的な細菌感染症を起こしやすく、また、小児ではまれに急性脳症を起こすことがあります。

★ 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において 5 類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約 5,000 か所 (岐阜県 87 か所) のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。(保健医療課 HP)

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/11223/kansenshouhou-kijun.html>

岐阜県感染症情報センターHP

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>